様式第二号の四（第八条の二の四、第八条の二の七関係）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 産業廃棄物事業場外保管届出書 | | |
| 年　　月　　日  　（宛先）  　川口市長  届出者  住所  氏名  (法人にあっては、名称及び代表者の氏名)  電話番号  第12条第３項前段  第12条第４項  　廃棄物の処理及び清掃に関する法律　　　　　　　　　の規定により、関係書類  及び図面を添えて届け出ます。 | | |
| 保管の場所に関する事項 | 所在地 |  |
| 面積 | ㎡ |
| 保管する産業廃棄物の種類 |  |
| 積替えのための保管上限又は  処分等のための保管上限 |  |
| 屋外において容器を用いずに  行う保管の有無  （保管を行う場合にあっては  規則第１条の６の規定の例による高さのうち最高のもの） |  |
| 保管開始年月日 | | 年月日 |
| 備考  積替えのための保管上限又は処分等のための保管上限には、廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条第１項第１号ホ又は第２号ロ（３）の規定により保管することができる産業廃棄物の数量を記入すること。 | | |

（日本産業規格　Ａ列４番）

添付書類一覧

**事業場の概要**

1. 事業地の状況
2. 事業地の登記事項証明書、公図の写し、土地賃貸借契約書の写し（借地の場合）
3. 建物の状況
4. 各建物の登記事項証明書（建物がない場合は不要）
5. 事業場の全体平面図
6. 案内図

**保管施設の概要**

（１）保管施設一覧表

（２）保管施設の概要

（３）保管施設の構造を明らかにする平面図、立面図、断面図、構造図

（４）構造耐力上の安全が確保されていることの証明書類及び図面等（保管で、施設

の囲い、仕切等に直接荷重がかかる場合）

（５）保管容器の容量計算書（保管容器を使用する場合）

（６）廃棄物の積上げ図及び体積計算書（保管容器を使用しない場合）

（７）収集運搬業の保管上限を示す搬出計算書

（１）事業地の状況

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 登記簿上の所在地 | 地番 | | 地目 | 面積（㎡）  ( )は一部面積 | 所有者 |
|  |  | |  | ( 　　 ) |  |
|  |  | |  | ( ) |  |
|  |  | |  | ( ) |  |
|  |  | |  | ( ) |  |
|  |  | |  | ( ) |  |
|  |  | |  | ( ) |  |
|  |  | |  | ( ) |  |
|  |  | |  | ( ) |  |
|  |  | |  | ( ) |  |
|
|  |  | |  | ( ) |  |
|  |  | |  | ( ) |  |
| 合　　　計 　 　筆 | | 登記簿上の敷地面積　　　　　㎡  （事業場の合計面積　　　　　　㎡） | | | |

　※　当該地の土地公図（申請日前３月以内に発行されたもの）を添付してください。

　※　当該地の登記事項証明書（申請日前３月以内に発行されたもの）を添付してください。

　※　届出者が所有権を有しない場合は、使用する権利を有することを証する書類を

添付してください。

　※　筆の一部を使用する場合は、控除面積を明らかにする図面を添付してください。

※　事業場の全体平面図を添付してください。

（２）建物の状況

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 建物番号 | 使用目的 | 構　造  (構成材料・階数) | 床面積  （㎡） | 所有者 |
| 例 | ☑処理（施設番号 １～４ ）  □保管（施設番号　　　　 ） | 鉄 骨 造  平 屋 建 | ○○.○ | (株)○○○ |
| １ | □処理（施設番号　　　　 ）  □保管（施設番号　　　 　 ） |  |  |  |
| ２ | □処理（施設番号　　　　 ）  □保管（施設番号　　　 　 ） |  |  |  |
| ３ | □処理（施設番号　　　　 ）  □保管（施設番号　　　 　 ） |  |  |  |
| ４ | □処理（施設番号　　　　 ）  □保管（施設番号　　　 　 ） |  |  |  |
| ５ | □処理（施設番号　　　　 ）  □保管（施設番号　　　 　 ） |  |  |  |
| ６ | □処理（施設番号　　　　 ）  □保管（施設番号　　　 　 ） |  |  |  |
| ７ | □処理（施設番号　　　　 ）  □保管（施設番号　　　 　 ） |  |  |  |

　※　屋内で保管施設を設置する建物について記載してください。

　　　（事務所棟は除いてください。）

　※　建物番号を「事業場の全体平面図」に明記してください。

　※　各建物の登記事項証明書（届出日前３月以内に発行されたもの）を添付してく

ださい。登記事項証明書が添付できない場合は、所有者を証する書類を添付し

てください。

　※　届出者が所有権を有しない場合は、使用する権利を有することを証する書類を

添付してください。

（３）案内図

・　住宅地図等をコピーし別添とする場合は、

場所をマーカー等ではっきりと示してください

保管施設

（１）保管施設一覧表

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業場所在地 | |  | | | |
| No | 廃棄物の種類 | | 保管面積 | 保管高さ | 保管上限 |
| １ |  | |  |  |  |
| ２ |  | |  |  |  |
| ３ |  | |  |  |  |
| ４ |  | |  |  |  |
| ５ |  | |  |  |  |
| ６ |  | |  |  |  |
| ７ |  | |  |  |  |
| ８ |  | |  |  |  |
| ９ |  | |  |  |  |
| 10 |  | |  |  |  |

（２）保管施設の概要

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 保管施設番号　No. | | 新規、変更なし、変更前・変更後 |
| 産業廃棄物の種類 | |  |
| 保管の目的 | |  |
| 保管の期間 | |  |
| 保管状況 | | 屋内・屋外  （囲い、仕切等に直接荷重がかかる場合の耐荷重性：有・無） |
| 保管施設の面積 | |  |
| 保管の高さ | |  |
| 保管容器 | 容器の種類 |  |
| 容量及び数量 |  |
| 保管施設の容量 | |  |
| 環境保全対策 | 囲い・表示 |  |
| 飛散防止措置 |  |
| 流出防止措置 |  |
| 浸透防止措置 |  |
| 悪臭防止措置 |  |
| ねずみ及び蚊等の防止措置 |  |

（注１）保管施設の構造を明らかにする平面図、立面図、断面図、構造図及び施設の設置場所を示す事業場平面図を添付してください。

（注２）保管で、施設の囲い、仕切等に直接荷重がかかる場合は、構造耐力上の安全が確保されていることの証明書類及び図面等を添付してください。

（注３）保管容器を使用する場合には保管容器の容量計算書、使用しない場合には廃棄物の積上げ図及び体積計算書を添付してください。

（注４）保管施設の設計根拠として、保管上限を示す搬出計画書を添付してください。

保管上限を示す搬出計算書

保管上限と保管容量との整合性について

　保管上限を以下の方法を参考に算出し、保管施設の容量の合計が当該保管上限の数量と比較して妥当かどうか審査する。

　なお、保管施設の容量は保管上限を超えない範囲とする。

例

|  |
| --- |
| 収集運搬において産業廃棄物の保管を行う場合、一日当たりの平均的な搬出量に７を乗じて得られる数量が保管上限である。  　搬出車両それぞれの積載量、搬出回数、一月の搬出日数から一月の総搬出量を算出し、それを３０日で割ることで一日あたりの平均搬出量を算出する。そして、そこに７を乗じて保管上限を算出する。  　計算式（例）は以下のとおり。 |

計算例

搬出計画

　産業廃棄物の種類(　がれき類　)

　搬出車両　n=(　3　)台



　　 /日

…(B)



　　 /日



　　 /日



(B)を(A)に代入すると



　=(1.35×5+1.35×5+1.35×5)×18÷30×7

　=85.05≒85.1

以上より、保管上限は85.1㎥。

保管施設の容量の計算（※屋外容器なしで仕切りに荷重がかからない場合）

A

　　　　（平面図）　　　　　　　　　　　　　　　　　 （断面図）

B'

B

10m

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　A-A'　　　　　　　　　　　B-B'

2.5m

10m

2.5m

5m

5m

5m

5m

A'

　10×10×2.5÷3=83.333…≒83.4